



## 生き活きの素

# 1

### 「響き合う」というコミュニケーション

ご利用者様一人ひとりの心と身体に  
「響き合う」こと。

しっかり向き合うことから、  
私たちのケアが、始まります。

在宅サポートセンター生田は、デイサービス（通所介護）、グループホーム（認知症共同生活介護）、居宅介護支援事業という3つの介護保険サービスを提供しています。その3つのサービスの名称が「響（ひびき）」という同じ名前となっています。理由は、ご利用者様と「響き合う」ことが介護だと私たちは考えているからです。

介護の現場には、ご利用者様同士のなじみの関係、スタッフとご利用者様との関係、ご利用者様と設備の相性など、さまざまな“関係”や“相性”があります。その一つひとつの関係がしっかりと「響き合う」ようにかかわるのが、私たちの役割だと考えています。そのことが、ご利用者様の「楽しい」という思いや、生活への「意欲」、さらに、本来持っている身体の「機能」を引き出すことにつながります。デイサービス「響」、グループホーム「響」、居宅介護支援事業所「響」。「ひびき」という名前には、私たちの介護への強い思いが込められています。



## 生き活きの素

# 2

### 「生活リハビリ」というケア

生活を文字通り「生き活き」させる基本の「き」。  
当たり前の  
「食べる」「飲む」「眠る」「排泄」「入浴」に  
こだわります。

「食事」「睡眠」「排泄」「入浴」。これらは、普通の生活を送るうえで基盤となる、いわば「当たり前」の行為でもあります。高齢の方や慢性の疾患を抱えている方の中には、十分に食事をとることができない、自宅で入浴することができないなど、さまざまな障害を抱えることが少なくありません。このようなご利用者様の「できない」という生活行為一つひとつに対して、私たちは、あくまで普通の生活行為を引き出す、という視点から介助いたします。ご利用者様の本来もっている意欲や機能を引き出すことで、「おいしく食べる」、「ぐっすり眠る」、「すっきり排泄する」、「気持ちよくお風呂に入る」をサポートする、これが「生活リハビリ」の極意です。

